

この本のとくちょう

『まるごと 日本のことばと文化』（『まるごと』）は JF 日本語教育スタンダードに準拠したコースブックです。『まるごと』には以下のような特徴があります。

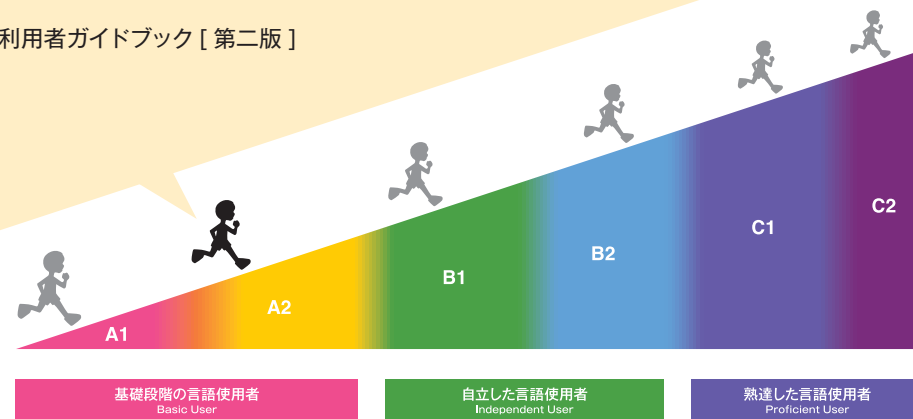
● JF 日本語教育スタンダードの日本語レベル

『まるごと』は JF 日本語教育スタンダードの 6 段階(A1-C2) でレベルを表しています。『まるごと』（初級2）は A2 レベルです。

A2 レベル

- ・ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。
- ・簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
- ・自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。

JF日本語教育スタンダード 2010 利用者ガイドブック [第二版]



● 2つの『まるごと』：「かつどう」と「りかい」

『まるごと』は日本語を使ってコミュニケーションができるようになるために、「かつどう」と「りかい」の2つの学習方法を提案します。

「かつどう」：日本語をすぐに使ってみる人に

- ・日常場面でのコミュニケーションの実践力をつけることが目標です。
- ・日本語をたくさん聞き、話す練習をします。

「りかい」：日本語について知りたい人に

- ・コミュニケーションのために必要な日本語のしくみについて学ぶことが目標です。
- ・コミュニケーションの中で日本語がどう使われるか、体系的に学びます。

「かつどう」と「りかい」はどちらも主教材です。どちらを選ぶかは、学習目的によって決めてください。また、「かつどう」と「りかい」は同じトピックで書かれています。両方で学べば、総合的に日本語力をつけることができます。

● 異文化理解

『まるごと』は、ことばと文化を合わせて学ぶことを提案しています。会話の場面や内容、写真、イラストなど様々なところに異文化理解のヒントがあります。日本の文化について知り、自分自身の文化をふりかえて、考えを深めてください。

● 学習の自己管理

ことばの学習を続けるためには、自分の学習を自分で評価し、自分で管理することがとても重要です。ポートフォリオを使って、日本語や日本文化の学習を記録してください。ポートフォリオを見れば、自分の学習プロセスや成果がよくわかります。

3月3日

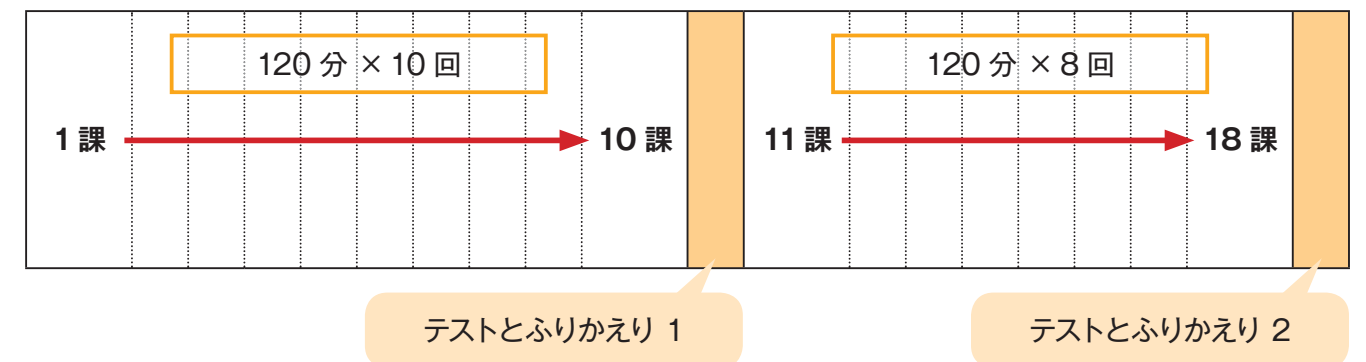
日本文化センターで、寿司を作りました。
とてもたのしかったです。
If I compare Japanese food with Australian food, they both rely on fresh ingredients and the natural tastes of the fresh ingredients.

この本のつかいかた

1 コースの流れ

『まるごと』（初級2 A2 りかい）のコースは、コミュニケーションを支える言語構造（文字、語彙、文法、句型など）の学習を中心に進めます。授業時間の目安は1課あたり120-180分で、コースの中間と終了時に「テストとふりかえり」をします。

コースの例：1回の授業（120分）で1課を学習する場合



2 トピックと課の流れ



1つのトピックに、2つの課があります。写真を見て、どんなトピックか話します。基本文を見て、この課で学習することを確認します。

べんきょうするまえに

この課の内容についての質問があります。課の内容を想像し、理解しやすくするための準備です。

もじとことば

この課で使う文字とことばの練習をします。ことばはトピックとつなげて意味を理解するのが効果的です。ごいインデックスなど：URL → p9

かいわとぶんぼう 2-4



● モデル会話

音声を聞きながら黙読し、会話と文法を結びつけて理解します。イラストもヒントに使いましょう。

● 文の構造

文の構造やルールを理解します。

● 練習

文脈／場面の中で、会話と文法を結びつけて練習します。答えのチェックにも音声を使ってください。



かんじ

トピックに関係のあることばが漢字で表されています。漢字はまず読み方をおぼえましょう。また、入門 A1、初級 1 A2 で勉強した漢字は会話で使われています。



ことばと文化

会話中に現れる日本語の使い方や文化的な特徴について考えます。

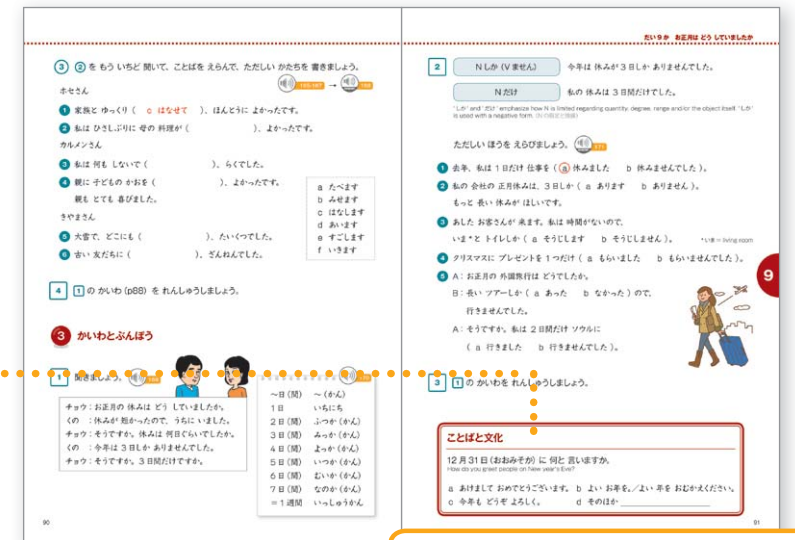
どっかい

この課の内容に関連した短い文章を読みます。文法・文型がどんな文脈で使われているか、よく見ましょう。



アイコン

- にほんごチェックを しましょう
- ポートフォリオに いれましょう



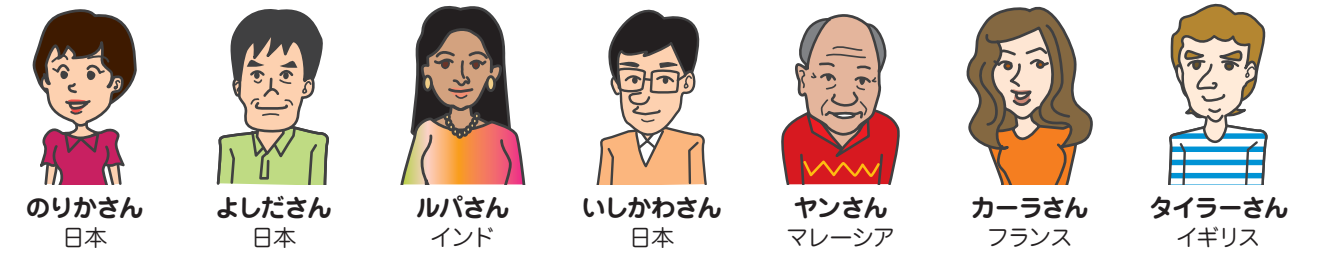
ざくぶん

この課の内容に関連した短い文章を書きます。まず、モデルの文章をよく見て、自分について書いてください。そして、ワークシート(p167)にもう一度全部自分で書きます。書いたら、ポートフォリオに入れ ます。PDF：URL → p9

にほんごチェック

授業のあとで、場面 に合った日本語の使い方がわかったか、自分でチェックします。 にほんごチェック p194-p199 PDF：URL → p9

「さん」はほかの人の名前の後ろにつける敬称です。(たなかさん)



3 異文化理解の活動

『まるごと』はことばと文化をいっしょに学ぶコースです。教室の外でも日本語を使ったり、日本文化を体験したりしましょう。

- ・ 日本のウェブサイトを見る
- ・ 日本のドラマや映画を見る
- ・ 日本料理のレストランに行ってみる
- ・ 日本関係のイベントに行ってみる
- ・ 日本人の友人や知り合いと話してみる

教室の外で体験したことをクラスの人と話してください。

4 学習の自己管理の方法

1) にほんごチェック

1つの課が終わったら、にほんごチェック(p194-p199)を見て、チェックします。自分の学習をふりかえって、コメントを書きます。コメントは何語で書いてもいいです。

番号	問題	正解	正解	正解	コメント	日/月/日
1	1番目の男の子という意味	● と というい	1	☆☆☆		
2	来たまというところ	● N1 という N2	2	☆☆☆		
3	先週(目的)買ったま	● ぬいしゅうしよく Noun modifier V/イタ/アム/N(5つうけい plain form) +N	3	☆☆☆		
4	あの女の人ばかりが書いてます。 かみか書いて	● N1 (D) は N2 がイA/アです N2 がイA-イ/ア-な+ N1 (D)と	4	☆☆☆		
5	あの人は 誰を 書っています。 誰を 書っている人	● V-ています V-ている+N (D)と	5	☆☆☆		

コメントの例

- ・ 日本語で少し長い文が作れるようになった。
- ・ 旅行のトピックで日本語を練習するのが楽しかった。
- ・ 漢字の読み方をもっと知りたい。

2) ポートフォリオ

日本語と異文化理解の学習や体験を記録し、ふりかえるために、ポートフォリオには以下のようなものを入れます。

- ① にほんごチェック
- ② テスト
- ③ さくぶん
- ④ 日本語・日本文化の体験記録

5 テストについて

テストの方法と内容については、「テストとふりかえり」(p101-p102、p168-p169)を見てください。

6 関連情報

『まるごと』ポータルサイト <https://www.marugoto.org/>

以下の『まるごと』関連リソースをダウンロードしたり、学習支援サイトにアクセスしたりできます(無料)。

● 教科書といっしょに使う教材

- ・ 音声ファイル
- ・ さくぶんシート
- ・ ごいインデックス
- ・ ひょうげんインデックス
- ・ かんじのことばリスト
- ・ にほんごチェック

● 学習支援サイト

- ・ 「まるごと+(プラス)」
- ・ 「まるごとのことば」

● 教師用リソース

